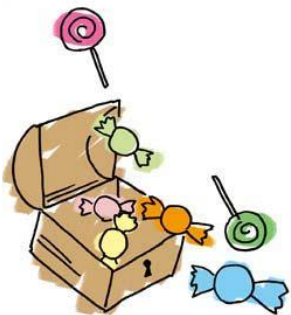


CHANGE

◇ 一学期の終業にあたり

早いもので、本日で一学期の終業式を迎えます。先週末の時点で6割の生徒が皆勤で登校する事が出来たことや、学校行事を滞りなく実施できたことなど、保護者の皆様のサポートに支えられて本日を迎えることが出来ました。この場をお借りして、改めて御礼を申し上げます。

さて、3年生にとって今年の夏休みは、“本気になれる夏”、“運命の夏”というキャッチフレーズに似合う行動が求められます。明日からは夏休み期間に入りますが、1学期中に準じて、部活動や資格講習を始め、進路書類の作成・提出や、面接や学科試験の練習など、夏休み期間もご子息の未来を拓く活動にご支援を頂けると幸いです。



昨年度までに“本気になれる夏”を過ごした生徒を想うと、この夏休みを境にして、自らの至らなさや力不足、将来の不安に悩みを抱きやすい時期に差し掛かります。ご子息の表情や仕草、弱音や強がりなどのサインを感じたら、機を逸することなくご対応賜りますようお願いいたします。

◇ 30 時間を作り出そう

今年度も、約40日間が夏期休業期間に充てられています。大切な夏を過ごすにあたり、現状の学習に加えて、1回あたり15分の学習を朝・昼・晩の3回ずつ実践を心掛けてほしいと思います。40日間を続けると、実に合計30時間を超える学習時間に上ります。通学中の列車内、早朝や食事前など、スキマ時間を有効に活用すると、実現が近づくのではないのでしょうか。